

国際協力・交流のポスターコンクール

応募資格

福岡都市圏内に通学または居住している小・中学生・高校生

作品の内容

テーマ「つながりあう世界と福岡」をポスター内に挿入し、世界と私たちが生活する福岡が互いにつながりあい、影響を受けあっていることを表現したもの。

作品企画

用紙サイズは4つ切り画用紙<約54cm×38cm>、コンピューターグラフィックの場合はA3版で出力。未発表のオリジナル作品のみとします。

募集期間

2017年7月10日（月）～9月7日（木）

応募点数

50点

優秀作品展

入選作品は10月12日から10月18日まで、福岡市中央区役所 1階まちかど文化ひろばにおいて展示を行いました。

表彰式

10月15日に福岡市中央区役所 3階区長応接室で表彰式を行いました。

優秀作品一覧



つながり合う 世界と福岡

報告書

国際協力 フェスタ

地球市民どんたく 2017

10月22日（日）
10:00～16:00
天神中央公園

※台風により開催中止



同日、同会場開催

※このちらしは昨年度実施した地球市民どんたくポスターコンクールで優秀賞を受賞した篠田ゆり子さん（雙葉中学校3年）の作品を基に作成しています。

国際協力フェスタ「地球市民どんたく」について

1999年に発足した国際協力フェスタ「地球市民どんたく」は、国際協力・国際交流に対する一般市民の関心を高めるとともに、国際協力・交流に取り組む福岡のNGO等相互のネットワークをつくることを目的とする事業です。多くの市民へ地元NGO等の活動紹介を行い、国際協力・交流に対する意識を高めてもらうことを目指すため、今年も福岡都市圏を拠点とする国際協力・交流のNGO等団体が実行委員会を組織しています。

事業名 国際協力フェスタ「地球市民どんたく2017」

主催：地球市民どんたく実行委員会
 共催：公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団、JICA九州、福岡市
 協賛：公益財団法人西日本国際財団
 後援：特定非営利活動法人九州海外協力協会、公益財団法人福岡県国際交流センター、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、テレビ西日本、福岡放送、TVQ九州放送、福岡市教育委員会（ポスターコンクール）

テーマ 「つながりあう世界と福岡」

内容

- ① NGOなどの団体活動紹介ブース展示（パネル・写真等）及びワークショップ
 日時：2017年10月22日(日) 10:00～16:00
 会場：天神中央公園（福岡市中央区天神1丁目1番）
 同日同会場開催予定：ふくおか“できるマーケット”2017（福岡県主催）
- ② 国際協力・交流のポスターコンクール
 「つながりあう世界と福岡」をテーマとして福岡市内の小中高生からポスターを募集し、ポスターコンクールを行いました。

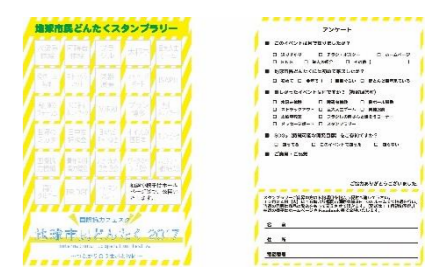
※10月22日のブース出展は、台風接近に伴い、会場への影響が予測されることから、出展者及び参加者の皆様の安全を最優先に考慮し、やむなく中止としました。

広報印刷物

開催チラシ (A4 3500部)



スタンプラリーカード (100mm×148mm 1000部)



当日パンフレット (A3 3つ折り 1000部)



2017年度参加団体紹介

<p>ハビタット福岡市民の会</p> <p>国連ハビタット福岡本部の活動内容や、アジア太平洋地域の人々の現状を多くの方々に知っていただくために、1991年1月に発足しました。国連ハビタット福岡本部の広報活動や応援を主に行っています。</p>	<p>日本中国友好協会 福岡支部</p> <p>日中不再戦・平和を大きな柱として、戦争の歴史を正しく伝える活動と中国への幅広い関心に応じて中国語講座・太極拳教室をはじめ多彩な楽しい文化的活動を展開しています。</p>	<p>福岡ダルニー連絡会</p> <p>(公財) 国際センターはメコン5か国の小中学生一人ひとりにダルニー奨学金を提供しています。私たちはダルニー奨学金に賛同し、資金を提供している個人、グループの集まりです。中村学園インターナクト部、在福岡ラオス名誉領事館、福岡・ラオス友好協会と共に就学援助のための活動をしています。</p>	<p>公益財団法人 オイスカ西日本研修センター</p> <p>オイスカは1961年に設立された国際NGOです。アジア、南太平洋地域を中心に36の国と地域で活動を展開しています。人材育成を柱に環境保全、農村開発、国際協力、普及啓発などに力を入れています。2000年代からは「ふるさとづくり」をスローガンに掲げ、各国の青年が地域のリーダーとなるような研修を行っています。</p>	<p>福岡県青年海外協力協会</p> <p>青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアに参加した福岡県在住のOB・OGの会です。会員相互の親睦を図り、海外で得た貴重な体験を生かし、福岡県の各種団体との交流を深めるとともに、国内はもとより、各国国民との相互理解と連帯を深めつつ国際親善と世界平和に寄与することを目的とします。</p>	<p>特定非営利活動法人 NGO福岡ネットワーク</p> <p>FUNNは、1993年に設立した九州最大のネットワークNGOです。平和で公正な世界の実現を目指し、九州地域に活動拠点を置くNGOを支援し、市民とNGO繋ぐ事で、地域と世界の国際協力の推進に取り組んでいます。外務省からの委嘱を受けて、市民・NGOからの国際協力に関する質問や照会などに応える相談業務を行っています。</p>	<p>日本国際ボランティアセンター九州ネットワーク</p> <p>福岡を中心とした九州地区のJVC（特定非営利活動法人・日本国際ボランティアセンター、本部：東京）の会員有志やJVCの活動趣旨に共鳴する有志のグループで、九州発・草の根の国際協力を目指します。JVCや「南」の地元のNGOの活動を支援しつつ、「地球市民」として私達ができること、すべきことを考えていきたいと思っています。</p>	<p>NPO法人 トゥマンパティふくおか</p> <p>2003年からインドネシアの留学生とともに、学校にいけないインドネシアの貧しい子供たちへ奨学金をおくる活動を続けています。ユネスコ世界無形文化遺産でもある「ワヤン・クリ（水牛の皮を使った人形による影絵芝居）」の後援をします。</p>	<p>特定非営利活動法人 BRIDGE福岡支部</p> <p>BRIDGE福岡支部はコンゴ民主共和国の公衆衛生向上のために、地域医療に対する日本からの保健医療協力の推進を基盤とし、保健医療活動の支援、学術調査、広報活動を行うことにより、自然環境の保全と自立可能な経済発展に寄与することを目的に活動しています。</p>	<p>学校から世界のミカタを考える会</p> <p>主に福岡及び周辺地域における開発教育や国際理解教育への関心を持つ教職員、および市民の活動のサポートをすることで、当地域の教職員、および市民のESDや開発教育、国際理解教育分野への関心を高め、地域課題や国際問題等の解決に寄与することを目的とする。</p>
<p>特定非営利活動法人 ISAPH</p> <p>ISAPH (アイザップ) は、開発途上国の地域保健の向上を目指しています。ラオスとマラウイにおける、お母さんと子どもの健康増進のための住民参加型の活動の様子をご紹介します。</p>	<p>特定非営利活動法人 九州海外協力協会</p> <p>現地の人々とともに汗を流しながら相互理解を深め、貴重な体験や知識、情報、独自のネットワークを育んできました。今後の日本社会ならび国際社会における人材の育成と、帰国隊員が生き生きと活躍できるフィールドの拡充が求められる中、当会は国際協力や開発教育を通して青少年の健全育成を支援するとともに、地域がより元気になる事業を行っています。</p>	<p>JICA九州</p> <p>日本の政府開発援助(ODA)を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。人々が明るい未来を信じ多様な可能性を追求できる、自由で平和かつ豊かな世界を希求し、パートナーと手を携えて、世界を信頼つなぎます。</p>	<p>認定NPO法人 日本ハビタット協会</p> <p>日本ハビタット協会は国連ハビタットと共に紛争・貧困・災害などで悪化した居住環境を改善し、人々が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進しています。</p>	<p>アジア開発銀行 福岡NGOフォーラム</p> <p>1996年活動開始。アジア開発銀行 (ADB) 福岡総会 (97年) 以来、日本国内・世界各地の環境・開発・援助などの問題に市民の立場から取り組む政策提言型NGOです。</p>	<p>フランス国際ワークキャンプ九州</p> <p>フランス国際ワークキャンプ (FIWC) は、「学生の学生によるあなたのためのワークキャンプで世界をHappyに」を胸に、フリピン、中国ネパール、そして日本においてワークキャンプを行っています。</p>	<p>NGOモザンビークのいのちをつなぐ会</p> <p>モザンビーク共和国北部カーポデルガド州最大のスラム地区ナティティにてスラムの学舎・寺子屋を建設運営。スラムの美化活動や公衆衛生活動、農村地区での有機農業の実践、栄養価の高い樹木モリンガの育苗等も行う。2013年4月設立。</p>	<p>بران博多</p> <p>بران博多は、برانインターナショナルジャパンの活動を支援しているメンバーで作った団体です。福岡を中心にبرانインターナショナルジャパンの活動を広報する事で地域のメンバーでの交流を中心に活動しながら国際交流の輪を広げていきたいと思っています。</p>	<p>MIRAI ネパール・バネバ小学校支援の会</p> <p>ネパールのバネバ小学校を支援しているMIRAIは、福岡人のシニア4人、ネパールの青年2人の小さなボランティア団体ですが、直接届く支援が特長です。無給の先生達へのお礼や教材をネパールの青年に直接学校に届けてもらっています。</p>	<p>19団体が参加、運営してきました</p>